

クラス	Q108	担当教員	前原 清隆
テーマ	現代日本社会と法（仮）		
著書・論文 研究課題等	『未来への責任』と憲法 杉原泰雄・樋口陽一・森英樹編『長谷川正安先生追悼論集 戦後法学と憲法』 (2012年、日本評論社) 第1部「近現代史の中の法と法学」3「震災と法」所収		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：			
<p><b>目的、内容、方法、授業計画等：</b></p> <p>「現代日本社会と法」という広すぎるテーマにしたのは、これなら受講生がやりたいことを自由にできると思うからです。担当教員の専門分野は法学なので、<u>広い意味で法にかかわって</u>、受講生自身が関心のあるテーマを自由に選び、<u>いっしょに勉強</u>します。「広い意味で法にかかわる」とはどういう意味かわかってもらえるように、過去2～3年のゼミでとりあげたテーマの一部を紹介します。</p> <p>&lt;3年ゼミ&gt;          ブラック企業と心の病；子どもの性と子どもの権利条約；子どもの貧困；アジア諸国の日本観          裁判に関する諸問題（死刑；冤罪など）；延命治療と法；障害者いじめ裁判 ほか</p> <p>&lt;4年生の卒業研究のテーマ&gt;          統一テーマを決めているわけではありませんが、期せずしてこのようにくることができそうです。</p> <p>2013年度統一テーマ「日本社会における嘘と真実」          歴史教育における嘘と真実          犯罪捜査における嘘と真実          良い嘘と悪い嘘 ※原発の嘘と真実を担当者は推薦したのですが誰も食いついてくれませんでした・・・</p> <p>2012年度統一テーマ「日本社会における青年の諸相」          テレビドラマの変遷に見る家族と男女のかたち          「きょうだい」について          日本における学生運動の盛衰とその背景          現代日本青年の自殺観</p> <p>2011年度統一テーマ「日本社会におけるこころの自由」          日の丸・君が代裁判とこころの自由          善の成り立ち</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<p>ジャズ・バイオリニストの寺井尚子さんが、「自由になりたいと思えば思うほど、やらなくてはならないことが多い」と語るのを聞いたことがあります。</p> <p>このゼミは自由ですが、やらなくてはならないことをやらない人は本当に自由にやることはできないでしょう。</p>			